



〈こども版〉 としょかんだより No. 322

2011年

わくわく本だな

5月号

富山市立図書館

今月のおすすめ



= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

「うさぎくんとはるちゃん」(えほん)

おかだ ちあき / 作 岩崎書店



うさぎくんは、はるちゃんの家にあずけられることになりました。はじめてのおとまりです。はるちゃんが世話をやいてくれますが、家にかえりたいうさぎくんは元気がありません。でも、はるちゃんがうさぎくんの人形をなおしてくれて、二人はなかよしになります。

「さいごのさいごのなかなおり れいかいホテルはいつもまんいん」

三田村 信行 / 作 そうえん社



しんだひとのたましいが、あの世へいく前にとまるのが、“霊界”のホテルです。しんせつな支配人がいる『霊界きつねホテル』にブル船長がきました。でも、なかよしだったコリーはかせと出会い、大げんかをはじめます。いったい何があったのでしょうか？

「大どろぼう疾風組参上！ ばけもの長屋のおはなちゃん」

岩崎 京子 / 作 文溪堂



江戸では、お金持ちの店からお金をぬすみ、びんぼう人に小判をくばる“大どろぼう疾風組”のうわさでもちきりです。何だか怪しいと思ったおはなちゃんは、さっそく調べました。そして、こんどは呉服屋の吉川屋がねらわれていることをつきとめます。

あたらしくはいった本



えほん

「怪僧タマネギ坊」

川端 誠 / 作 B L 出版

忍者の怪僧タマネギ坊は、「巨大なイカ、タコ、エビを退治してほしい」とたのまれます。小舟で海に出て、特別なスパイスの粉をまいて呪文をとなえると、タコが舟にからみついてきました。海にひきずりこまれたタマネギ坊は、忍術をつかってたたかいますが、タコたちの足や毒の墨にくるしめられます。

ものがたい

「みてても、いい？」

磯 みゆき / 作 ポプラ社



いつもいたずらばかりしているきつねは、ある時、自分をじっとみているうさぎに気づきます。おとなしいうさぎは、まいにち、「みてても、いい?」と言って、きつねのあとをおいかけてきて、近くにいるのです。うさぎのことをじゃまだと思っていたきつねでしたが・・・。

ことばであそぼう！

世界のいろんなことば



力をあわせて何かをするとき、「一、二の三!」とかけ声をかけますね。世界にも「一、二の三!」にあたることばがありますよ!

- ・ ユー フェー チィ! (中国語)
- ・ ラース ドヴァー トゥリー! (ロシア語)
- ・ ハナ ドュル セッ! (韓国語)
- ・ アン ドウ トロワ パルテ! (フランス語)
- ・ ワン、トゥー、スリー、ゴー (英語)

「国際理解教育にやくだついろんな国・いろんなことば

世界のいろんなことば ワンワン・ジャンケンポン」(ポプラ社)より

ものがたり



「 タブスおばあさんと三匹のおはなし 」

ヒュー・ロフティング / 作 集英社

100歳のタブスおばあさんは、農場で幸せに暮らしていました。ところが、犬のパンクとアヒルのパンク、豚のピンクといっしょに農場を追い出されてしまいます。3匹は、おばあさんを農場へかえしてあげようと、新しい農場の持ち主をこまらせる作戦をたてました。

「 わたしの犬、ラッキー 」

ダイアン・メイコック / 作 あすなる書房



父を事故でなくしたマギーは、炭鉱の町から都会に引っ越すことになりました。新しい家には、愛犬のラッキーを連れていけないので、飼ってくれる人を探しますが、なかなか見つかりません。やっと見つけた人は、顔に恐ろしい傷のある、悪いうわさのある男の人でした。

「 おじいちゃんが、わすれても... 」

大塚 篤子 / 作 ポプラ社



五年生の杏は、テニスに夢中の毎日をすごしています。テニスは、医者をしていたおじいちゃんが教えてくれました。でも、最近、大好きなおじいちゃんの様子がおかしいのが気になります。家族のことをわすれたり、勝手に一人で遠くへ行ったりするのです。そして、杏の出るテニスの試合の日、おじいちゃんがいなくなっていました。

ちしきの本

「 星と宇宙のふしぎ 109 プラネタリウム解説員が答える天文のなぜ 」

永田 美絵 / 作 偕成社



「流れ星の正体は?」「太陽の大きさはどれぐらい?」「星はなぜ光るの?」「宇宙人はいるの?」この本では、星や宇宙に関する質問に、わかりやすくこたえて、説明しています。わたしたちの目では直接見られない、美しい宇宙の写真もたくさん楽しめますよ。

名作をよもう!

今月の1さつ



「ちいさいおうち」 バージニア・リー・バートン / 作 岩波書店

しずかないなかに、ちいさいおうちがたっていました。花にかこまれ、子どもたちのあそぶ様子を、いつもじっと見ていたおうちは、幸せでした。

ところが、自動車がやってきて、家のまわりが変わっていきます。広い道路ができ、お店ができ、電車が走り、高いビルが建てられました。大きなたてものにかこまれてしまったちいさいおうちに、気づく人はだれもいません。

ある日、この家の前を通った女の人が、おばあさんがすんでいた家だと気づきます。ちいさいおうちは、いなかひっこすことになりました。自然が、人々の生活に大切なものだと教えてくれる絵本です。



とやまし あ・れ・こ・れ

わりやましんりんこうえん てんこもり
割山森林公園 天湖森



さわやかな風がふくこの季節、新緑の美しい場所に出かけてみませんか。細入地域にあるアウトドアパーク「天湖森」では、オートキャンプやバーベキュー、釣り、テニス、フィールドアスレチックができます。また、水辺植物園などもあります。

JR高山線の楡原駅から30分、草花をながめながら歩いていったら、心も体も、花や緑でいっぱいになって、リフレッシュできますよ。



わくわくする本を
たくさん読んでね!



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272